

三重県人権センター 図書室 新着情報

2024年
第1号

三重県人権センター図書室に

新しく入った本の一部を紹介します！

人権について考えるきっかけづくりにしてみてください。

図書室では、人権に関する映像資料やパネルの

貸し出しも行っています。

研修や学習にぜひご活用ください！



三重県人権センター マスコットキャラクター「ミッコロ」

三重県人権センター図書室

Tel. 059-233-5537

開室時間 9:00～17:00

休室日 月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日
(10月19日、20日は臨時休室となります。)



大丈夫、
私を生きる。
山川記代香

『大丈夫、私を生きる。』

出版：集英社

著：山川記代香

顔の骨がうまく形成されない
先天性の疾患
「トリーチャー・コリンズ症候群」
に生まれた、29歳の女性の
“勇気と気づきの物語”。

◆山川記代香(やまかわ・きよか)
1994年、三重県生まれ。
日本福祉大学社会福祉学部卒。



『寝た子はネットでは起らない?!』

ネット人権侵害と部落差別

出版：福岡県人権研究所

著：川口泰司

全国水平社創立から百年を迎えた今、
部落差別の現実、差別禁止法の必要性、
ネット対策、人権教育のあり方について
考える一冊。
もう、「寝た子を起すな」論は
通用しない。「寝た子」はネットで
起こされる。



『リエゾン -こどものこころ診療所-』

(12～16巻) 出版：講談社

著：竹村優作 著：ヨンチャン

親と子の生きづらさに向き合う
“児童精神科医”の物語。

漫画



『こころのナース夜野さん(5、6巻)』

出版：小学館 著：水谷緑

心の痛みと向き合う、精神科ナースの物語。

『カビンくんとドンマちゃん』

感覚過敏と感覚鈍麻の感じ方

出版：ワニブックス

著：加藤路瑛

感覚過敏(カビンくん)と
感覚鈍麻(ドンマちゃん)の2人が
感じている困りごとを
ストーリー形式で追体験できる本。
感覚セカイの「そうだったのか!」
がわかる1冊です。



『母の壁』

子育てを追いつめる重荷の正体

出版：岩波書店

著：前田正子 著：安藤道人

保育園入所のために妊娠中から保活、
父親は仕事に忙殺されワンオペ育児、
時短を取れば職場では二軍扱い。
ある自治体で認可保育園に入所
申し込みをした全世帯への調査から
見えてきたのは、絡み合いながら
母を追いつめる「壁」の存在だった。



『わたしの かぞく みんなのかぞく』

出版：あかね書房

著：サラ・オレアーリ 著：チン・レン

家族にも多様性があることを
子どもの語りでユーモラスに表現。

絵本

『仕事に行ってきますシリーズ①』

クッキーづくりの仕事 洋美さんの1日』

出版、著：埼玉福祉法人埼玉福祉会

「やさしく読みやすい本」、LLブック。

